

斯人の如く入場するに至りしも、三庄工場に一隻の爪哇丸あるのみにして仕事を止る。機械器具等の手入札を以て当日は命令工事を除く外午前九時を以て命令休業とし日給半日分を支給し、尚明二十四日より命令工事を除く外当分の内臨時休業をなすこととし、其期間日給二時間分を支給する事とせり。かくて一方仕事を以て事に全力を盡し、先に六月二十日未島中の神戸出張所員日野原氏をして同夜九時帰神せしめ、本社にも取敢へず解決の旨打電し置き、且つ各方面の華容に対して依頼し工場として損失を招くも此際従業員救済の爲の修繕船の入札に当る等努力し遂に六月二十七日より全部就業する事となれり。

一方争議団に於ても六月二十三日を以て全部解散するに至り、茲に全く紛糾解決せり。吾が工場の紛争も大団圓を告ぐるに至れり。

顧るに五月十五日、一部少数教者が時勢を考慮すること無く、突然難問題を提げて、一擧ごとく其目的を達成せし爲め所謂労働者議の形式を採り、急業罷業威嚇の擧に出でしを以て己むを得ず一は工場自衛の爲め又大まかには我産業及び不可影響の甚大なるべしを考慮し、五月三十日休業を宣し職工同の自省を促せり。

斯く六月四日に至り工場は断然此紛争中なるも不拘、再び用門就業を宣言するに至りしは何故なるか。是れ一は多数従業員の入場希望者多し共、彼等家族の窮状を察し幾方の因島住民各位の御迷惑を思ひ、更には我帝国の現状を憂へ一日も早く丹満解決の日の速からん事を焦慮しその事なりき。

然るに一部少数の徒の煽動脅迫に遭り入場者なく、争議は益々紛糾混乱、六月十七日に至り、争議団員小本見童の林校向頭となり、其影響国民教育に波及するに及んで紛議更に深刻の度を増し、遂に司直の午を下すに及んで過激分子の屏息となり急転直下、六月二十日に至り丹満解決を告げ、二十三日より全部入場するに至り。